

11月 18-24日

## 詩編 107-108編

7番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 滝 | 伊藤 勇一

### 神の言葉の宝

#### 1. 「エホバに感謝せよ。神は善い方」 (10分) 有田 悟

エホバは、イスラエルをバビロンから救出したように、私たちをサタンの世界から救い出してくださった。 (詩 107:1, 2。コロ 1:13, 14)

エホバへの感謝の気持ちから、会衆の中でエホバを賛美する。 (詩 107:31, 32。塔 07 4/15 20 ページ 2 節)

エホバが示してくださっている愛についてじっくり考えるなら、感謝の気持ちが深まる。 (詩 107:43。塔 15 1/15 9 ページ 4 節)



#### 2. 宝石を探し出す (10分) 阿部 直生

詩 108:9 モアブは私のたらい。私はエドムの上に自分のサンダルを投げる。フィリスティアに対して勝利の叫びを上げる」。

どんな出来事に関連して、エホバはモアブを「たらい」や「洗い盤」に例えたと思われるか。

(洞-2 985 ページ 3 節) 後に、ダビデ自身が王として支配した時にも、イスラエルとモアブの間に戦いがありました。モアブ人は完全に従えられ、ダビデに貢ぎ物を払わされました。その戦闘の終わりに、モアブの戦う者の3分の2は殺されたものと思われます。ダビデは彼らを地面に一列に横たわらせてから、その列を測って3分の2を殺すことに決め、3分の1を生かしておくことにしたようです。 (サム二 8:2, 11, 12; 代一 18:2, 11) 恐らくその同じ戦闘の間に、エホヤダの子ベナヤは「モアブのアリエルの二人の子を討ち倒し」ました。 (サム二 23:20; 代一 11:22) モアブ人に対するダビデの決定的な勝利は、「星が必ずヤコブから進み出、笏がまさしくイスラエルから起る。そして彼は必ずモアブのこめかみを割り、戦乱の子らすべての頭蓋を割る」という、400年以上前に述べられたバラムの預言の言葉の成就でした。 (民 24:17) やはりこの勝利に関連したことと思われますが、詩編作者は神がモアブをご自分の「洗い盤(改定/たらい)」とみなされたことを語っています。—詩 60:8; 108:9。\*\*\* 洞-1 1026 ページ サンダル \*\*\* エドムに対する

侮べつを示唆していたとも考えられます。同じ聖句の中で、モアブは「わたしの洗い盤」と呼ばれているからです。今日、中東では、サンダルを投げることが侮べつの身ぶりとなっています。神の民に敵対する者たちが必ず終わりを迎える、その人たちのことを心配する必要が無い事学べる

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。（107:6、13、19、28など）ほぼ自分たちのせいで苦難を経験するようになっても助けを求める、エホバは何度でも助けてくださって、ご自分の民の祈願に必ず応えてくださること確信できる。私たちも自分の問題について、特に宣教面でもっと真剣に具体的にエホバに助けを求めて行く必要があると感じた。

### 3. 聖書朗読 長谷川瑛一

（4分）[詩 107:1-28](#)（教励 第5課）

## 野外奉仕に励む

### 4. 会話を始める 宮城ひかる 愛込1-4 金刺亜以子

（3分）日常生活で。（[愛込 レッスン1 ポイント4](#)）

### 5. 再び話し合う 金刺由里子 愛込9-3 田島マヤ

（4分）日常生活で。聖書レッスンについて話し、聖書レッスン紹介用コンタクトカードを渡す。（[愛込 レッスン9 ポイント3](#)）

### 6. 話 有川聖七

（5分）[イ尋90](#) 主題：マイナス思考をやめるには。（[教励 第14課](#)）

## クリスチャンとして生活する

### 46番の歌

### 7. 歌でエホバへの感謝を表す（15分）討議。 田中慶一

イスラエル人は、紅海で強力なエジプト軍から救出された時、エホバへの感謝の気持ちにあふれて歌いました。（[出15:1-19](#)）率先して歌ったのは男性たちでした。（[出15:21](#)）イエスや1世紀のクリスチャンも神を賛美して歌いました。（[マタ26:30。コロ3:16](#)）私たちも会衆の集会や大会で歌い、エホバに感謝を表します。例えば、先ほど歌った「エホバ、私たちは感謝します」の歌は、1966年以来集会で歌わされてきました。

ある文化圏では、男性は人前で歌うことを恥ずかしく思うことがあります。歌うのは得意ではないという理由で、歌うのをためらう人もいます。でも、集会で歌うことは崇拜の一部です。エホバの組織は、美しい歌を作ることに力を注ぎ、毎回の集会で歌う歌を注意深く選んでいます。それで、兄弟姉妹と一緒に賛美の歌を歌い、エホバに心からの愛と感謝を表しましょう。

「JWヒストリー歌という贈り物パート2」の[動画を再生する](#)。次の質問をする。



## 1. 1944年にどんな出来事がありましたか。

1938～1944まで集会で歌が歌われなくなつた。大会では歌が歌われていたが、集会では歌われていなかつたので兄弟姉妹は寂しく思つていた。米国ニューヨーク州バッファローの一一致した告知者の神権大会に出席。16:30 フランズ兄弟、「王国奉仕の歌」という話をする。「神の地上の僕たちが高らかに声を上げて文字通りの歌をうたうのは相応しことであり、神に喜ばれること。」途中でネイサンノア兄弟がステージに上がり、フランズ兄弟に赤い冊子を手渡す。その後フランズ兄弟が「王国奉仕の歌」の本を発表する。兄弟は「この本を使って集会で歌が歌われるようになる」と言う。聴衆は大喜びする。

その後歌の本は何度か新しくなつた。どれもエホバからの贈り物。「家から家に／1966年」。1950年版と1966年版の歌の本は、新しく発表されたクリスチャンギリシャ語聖書新世界訳の表現を使った。テーマも歌詞も新しくなり、間違つた教えの影響を受けた表現は使われなくなつた。王国奉仕の歌の本以降、作曲者と作詞者の名前は公表されなくなつた。全ての栄誉はエホバのものだから。1984年には、楽譜がシンプルになつた。コードが載せられ、ギターやピアノで演奏し易くなつた。レコード、カセットテープ、CD、電子ファイルも作られるようになつた。王国会館でも家でも車でも歌えます。エホバの民は沢山の音楽を印刷版や録音版で楽しんできた。でも全ての場所の兄弟姉妹がそうできた訳ではない。

## 2. シベリアの兄弟姉妹が王国の歌を歌うことの大切にしていたことは、どんなことから分かりますか。

(パート1) シベリアの兄弟姉妹は、賛美の歌を極秘で録音した。第二次世界大戦中、旧ソビエト連邦の兄弟姉妹は、厳しい反対に遭つた。想像してみて。印刷版の出版物はほとんどない。手書きで書き写したものばかり。ものの塔を持っているところを見つかったら、強制労働をさせられるか、シベリアに追放される。ロシア語で手に入った歌の本は、1928年版のものだけ。ですから兄弟姉妹は、1984年版も1966年版も1950年版も1944年版も持つていなかつた。貴方ならどうする？歌うのをやめてしまうか？兄弟姉妹は覚えていた歌を心を込めて歌つた。そして1928年版の歌の本を複製した。兄弟姉妹は非常に困難な時期にも歌い続けていた。何十年もそうしていた。そしてついに再び自由に歌えるようになる時が來た。1992年に旧ソビエト連邦で初めて開かれた国際大会では、スタジアムに集つた何万人もの兄弟姉妹が一緒に歌う事ができた。でも最新の歌の本がないのにどうやって歌うのか？皆で一緒に歌が歌えるようにロシア語で歌詞が書かれた特別な冊子が用意された。

## 3. エホバの証人にとって歌うことが大切なのはなぜですか。

歌うことによってエホバとの絆が強まるから。歌うことによって聖書の真理が心に刻まれるから。賛美を歌うことによって、歌という贈り物をくださつた音楽の創始者エホバへの感謝を表わせるから。

## 8. 会衆の聖書研究 (30分) 徹18章6-15節 司会: 吉田忍 朗読: 星延宏

---

閉会の言葉 (3分) | [73番の歌と祈り](#) 浮田蒼